

弓削高等学校

<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>



出汁ソムリエになろう

2年生 I 型の選択授業として「フードデザイン」を開講しています。今回の授業では出汁ソムリエを目指して出汁の飲み比べを行いました。



6種類の出汁を飲み比べ、各出汁の特徴を理解することができました。飲み比べを行った後はフードロス削減のため、6種類の出汁を用いて味噌汁を作り、試飲しました。



日本人の食生活に欠かせない出汁について深く知る機会になりました。

まんじゅう山に登ろう

3年生 I 型の選択授業として「体育探究」を開講しています。今回の授業では弓削にある通称「まんじゅう山」へ山登りを行いました。生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続することを目的として、さまざまな

競技に取り組むのが体育探究です。全員で登り切り、達成感を味わうことができました。



今回紹介した授業以外にも各教員が工夫を凝らした授業を行っています。6月10・11日には授業公開日を設定し、保護者や学校関係者だけでなく、地域の方も授業参観を行えるようにしています。また、弓削高校HPでも授業の様子を公開しています。ぜひご覧ください。

上島の花見



ヨークの水仙



父の桜

佐木島の桜

皆さん、こんにちは! 生名島のALT ピートです。この記事を書いている時点では、花見の季節が終わりに近づいています。今年は、満開になった桜の素晴らしい景色を見ることができて本当に幸運でした。いわぎ桜まつりを楽しんだ後、埼玉から

遊びに来てくれた友人とザビエル先生と一緒に、積善山の頂上まで登りました。桜色で飾られた上島の景色は、本当に息を呑むほど綺麗でした! この美しい場所を故郷と呼べるのは本当に幸せなことだと思います。

翌日は、友人たちと佐木島へ行き、今まで訪れた中で最も静かな場所でピクニックを楽しみました。その場所では、ギターを持ってきた男性のライブ演奏も聴くことができました! この素晴らしい季節がこんなに短いのはとても残念ですが、だからこそ特別なのだと思いました。

イギリスではお花見はしません。でも、私の故郷を含め、多くの場所で桜を楽しむことができます。私の故郷の川沿いにも桜は咲きますが、上島よりも少し開花が遅れます。父の家の前には美しい桜があり、父はと

弓削 月 19:30 ~ 弓削地域交流センター
生名 月 11:00 ~ 3分団集会所
岩城 木 19:30 ~ 岩城総合支所庁舎

英会話教室

でも誇りに思っています。つまり、イギリスではお花見として祝われませんが、それでも桜を楽しむことができます。この同じ季節にイギリスで最も人気のある花は、多くの町で春の到来を祝うためにたくさん植えられる水仙でしょう。

皆さんもお花見を楽しんでいただけたでしょうか? 桜を見に行った場所や、この季節の他に何か伝統があれば教えてください。皆さんが幸せに過ごせますように!



生名・魚島地区担当
ビーア ピーター ジョセフ スタッフォード

弓削商船高等専門学校

<https://www.yuge.ac.jp/>



令和7年度入学式を挙行

4月4日(金)、令和7年度入学式を挙行し、本科生125名(うち上島町出身4名)、留学生2名(タイ、インドネシア)、専攻科生5名の計132名の学生が入学しました。

式ではまず、入学許可が行われ、本科入学生および専攻科入学生による入学宣誓がありました。その後、内田校長より「弓削商船高専の教員、職員、施設、設備を遠慮せずに頼り、困難を乗り越え、大きく成長してください。」と式辞が述べられました。

在校生代表の商船学科4年水野さくらさんが歓迎の言葉を述べ、入学生を代表して商船学科正木智也さんが答辞を述べま

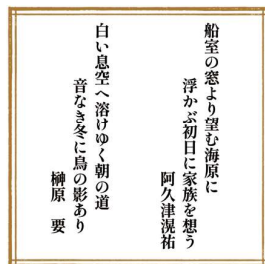
した。本科入学生125名のうち97名が白砂寮に入寮し、上島町での新たな生活が始まりました。



令和6年度 第22回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選

昨年度に国語の授業の一環で応募した『第22回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール』に商船学科2年阿久津湜祐さん、電子機械工学科2年 榎原 要さん(受賞時)2名の作品が、高等学校の部3309首の中から、本校が唯

一の高等専門学校として入選しました。



図書館に『短歌・俳句コーナー』を企画展示中です。ぜひ入選作品集や短歌に関する図書を手に取ってご覧ください。

わたしの 上島旅

— 第43回 —
今月の旅人



▲お手伝いしてくれた弓削高生

4月18日、佐島で島四国が行われました。島四国とは、四国八十八ヶ所を写した霊場巡りで、江戸時代半ばから瀬戸内の島々に広まったとされます。

佐島では、遍路道の一部が満潮時に沈むため、旧暦3月21日に行われます。平日でも子どもたちが登校前にお接待を受けられるよう、早朝6時半から始まり、9時にはあらかた手仕舞いです。

コロナ禍で4年中止された間に世話人の高齢化が進み、お接待をする札所も減りましたが、今も島の方々のお話からは、島四国への深い愛着が伝わってきます。

とりわけ心を打たれるのは、佐島南端の蛸崎に、尾道市吉和の漁師さんが船でお接待に来られるこ

とです。かつて家船での船上生活で知られた吉和のなりわいと信仰、島々との交流の残照が、福羅湾の美しい光景と相まって、まるで神話の世界のようです。

島四国は、自然への深い畏怖と信頼に根ざした巡礼の本来の姿を思い起こさせます。その知恵とところは、これから大きく変わる社会で切実に必要とされるものだと感じるのです。

汐見の家では昨年から、移住者や学生、ゲストの皆さんとともに、数ヶ所でのお接待を始めました。微力ながら、この尊い文化を次世代へとつなぎたいと願っています。

古民家ゲストハウス 汐見の家
代表 西村 暢子

上島町観光協会

お問い合わせ ☎0897-72-9277

